

令和元年度第10回教育委員会定例会 会議録

◇ **開催年月日** 令和2年1月23日(木) 16時00分開会
16時40分閉会

◇ **開催の場所** 教育委員会室

◇ **出席者**

教育長	杉元 羊一
委員(職務代理者)	津曲 貞利
委員	桃木野 聡
委員	小栗 有子
委員	立元 千帆

◇ **説明のため出席した者の職氏名**

管理部長	小倉 洋一	教育部長	大脇 俊朗
総務課長	森崎 浩文	施設課長	米盛 光明
文化財課長	池田 雅光	美術館副館長	久保田 稔
図書館副館長	有満 弓恵	学務課長	辻 慎一郎
学校教育課長	下江 嘉誉	保健体育課主幹	竹之下 浩徳
青少年課長	楠原 豊	生涯学習課長	牛堀 隆弘
少年自然の家所長	永吉 眞一	中央学校給食センター所長	川口 孝

◇ **書記**

総務課主幹	堀田 竜也	総務課主査	梶山 寛之
-------	-------	-------	-------

◇ 議事日程

- 1 開 会
- 2 会議成立の宣告
- 3 会議録署名者の指名
- 4 会議の公開等について
- 5 議 案
 - 定第 4 2 号議案 代決処分の承認を求める件
〔鹿児島市教育委員会事務局等の職員の任免について〕
 - 定第 4 3 号議案 令和元年度鹿児島市一般会計補正予算（教育委員会関係分）に係る
議案についての意見に関する件
- 6 報告事項
 - (1) 令和 2 年度鹿児島玉龍中学校入学者選抜結果について
- 7 その他
- 8 閉 会

◇ 会議要旨

1 開会

教育長 それではただいまから、令和元年度第10回教育委員会定例会を開会いたします。

2 会議成立の宣言

教育長 本日は、桃木野委員が遅れてご出席とのご連絡をいただいておりますが、定足数に達しておりますので、会議は成立しております。

3 会議録署名者の指名

教育長 本日の議事日程は、お手元に配布したとおりでございます。
会議録署名につきましては、立元委員と私が行います。

4 会議の公開等について

教育長 次に、会議の非公開についてお諮りします。
本日審議する定第42号議案は、人事・人選等に関する案件、第43号議案は、市議会提出前の意思形成過程の案件でありますので、非公開の扱いとしたいと思いますが、ご異議ございませんでしょうか。
(異議なしの声)

教育長 ご異議もないので、そのように取り扱います。

5 議案

定第42号議案 代決処分の承認を求める件

〔鹿児島市教育委員会事務局等の職員の任免について〕

承認

【 本 議 案 は 非 公 開 】

～ ～ ～ ～ ～ ～ ～ ～ ～ ～ ～ ～ ～ ～

定第43号議案 令和元年度鹿児島市一般会計補正予算（教育委員会関係分）に係る議案についての意見に関する件

同意

【 本 議 案 は 非 公 開 】

～ ～ ～ ～ ～ ～ ～ ～ ～ ～ ～ ～ ～ ～

6 報告事項

(1) 令和2年度鹿児島玉龍中学校入学者選抜結果について

教育長 それでは最後に、報告事項（１）につきまして、下江学校教育課長、説明をお願いします。

事務局（学校教育課長） 報告事項関係資料（１）「令和２年度鹿児島玉龍中学校入学者選抜結果について」ご報告いたします。初めに、玉龍中学校は平成１８年度４月に開校しております。入学者の選抜検査日は、１月１８日、先週の土曜日でございました。当日の日程につきましては、適正検査、そして、午後から集団面接を実施しているところでございます。出願者数につきましては、今回は、４９７人で、募集定員１２０人に対して、出願倍率は４．１４倍でございました。当日の受験者数につきましては、４８５人で、受験倍率は４．０４倍でございます。７番をご覧ください。合格者は１２０人で、内訳は男子生徒６１人、女子５９人でございます。今後、辞退者、それに伴って追加合格がございますので、男女の人数には変動がございます。可否の結果につきましては、受験者本人宛に本日郵送しております。今後の日程でございますが、２月１５日、土曜日に入学者説明会を実施する予定でございます。最後に、令和３年度入学者選抜検査日につきましては、令和３年の１月１６日の土曜日を予定しているところでございます。なお、平成２９年と３０年は、附属中学校と検査日が重なってございましたが、それ以外の年度は別日でございます。令和３年度も附属中、また楠隼中学校とは別日の予定となっているところでございます。以上で令和２年度の鹿児島玉龍中学校入学者選抜結果についての報告を終わります。

教育長 ただいまの報告につきまして、何かお聞きになりたいことがあれば、委員の皆さんからご質問いただければと思います。

教育長 課長、適性検査の問題はありますか。

事務局（学校教育課長） はい。

（事務局より委員へ配布）

教育長 これは、適性検査でなければならないのですよね。学校教育課長、その辺の経緯を説明してください。

事務局（学校教育課長） 玉龍中学校の中高一貫教育校においては、学力検査ではなく適性検査ということで実施しております。適性検査Ⅰは、主に読み取る力、あるいは表現する力を見るということになりますが、適性検査Ⅱでは、色々な力を総合的に見るという検査になっているところでございます。

教育長 適正検査ⅠとⅡの平均点はどのような状況でしょうか。

事務局（学校教育課長） 申し訳ございません。まだ結果は見えてないところでございます。今から分析をしていきたいと思っております。

教育長 他に委員の皆さんから何かありますでしょうか。

委員 出願者数が少しずつ減ってきているようですが、これに対して何か対応を考えているのでしょうか。

教育長 中高一貫校ですので、高校の動きも含めて、何か対応的な動きがあったら教えていただけますか。

事務局（学校教育課長） 受験者が微減という状況でございますが、２９年度、３０年度を見ていただきますと、このときは附属中と受験日が重なったときでござい

ます。出願倍率は2倍から3倍前半ということでした。他の中学校と同一日で実施という考え方もできますけれども、そうすると受験倍率が低くなってくる。しかし、そのほうが玉龍中を目指している子供たちが集まるという考え方もできるということで、これから検討していかなければいけないというふうに考えているところでございます。以上です。

教育長 玉龍高校の新しい事業ということで、海外派遣の動きについて説明をお願いします。

事務局（教育部長） 玉龍高校が創立80周年を迎えるということで、学校の特色の一つとしてグローバル化に取り組んでいるところでございます。オーストラリアのパス市のマタディーカレッジとの交流で、本年3月、そこに短期留学という形で10名の生徒を派遣するという形での事業を展開する予定でございます。

教育長 現状として、鶴丸、甲南高校の同窓会が、そういった海外派遣事業を行っております。鹿児島中央高校は、スーパーサイエンスの文科省の指定を受けております。そして加治木高校なども同窓会が海外派遣をしている中で、玉龍高校も、そういう魅力づくりの中で、同窓会が80周年を迎えるということで海外派遣を行います。マタディーカレッジとの交流は、マタディーの方からは高校生が来るのですが、長らくこちらからは行っておりません。勿論、玉龍中・高の生徒たちは、鹿児島市の国際交流課の「青少年の翼」事業で、積極的に海外に行っているのですが、学校として単独でそういうことを打ち出すことで中高一貫校の魅力づくりの一つとして、今年の3月に第1回目の生徒さんの派遣という形で、具体的に取り掛かっているところでございます。

委員 これは1年生、2年生でしょうか。

事務局（教育部長） 高校の1、2年生です。同窓会の記念事業という形で、大体1週間から10日くらいの日程で、3月に計画しております。

教育長 中高一貫校ですので、高校を出て次の進路というものが見えてこなければ、なかなか玉龍中学校への選択というのは広がっていかないだろうということで、学校の魅力づくりの一つの対応策として高校の方でそういった同窓会の協力を得て行っているようでございます。

委員 どんな生徒たちが高校に来ているのかということについて、試験内容によってどういう生徒に来てほしいかということと関連すると思うんですけれども、そのあたりがもし分れば教えてください。それと、小・中学校に関しては学校訪問があるんですけれども、高校はそういうものがあるのでしょうか。

事務局（学校教育課長） 入学者選抜の問題を作成するときに、こういう子供たちに入学してほしいというものをもっておりまして、それを問題に下ろしていくという作業をしております。それから、鹿大の先生にも入っていただいて、問題の適正といったものも見ていただきながら作成しております。問題作成会を8回ほど実施しまして、この問題に落ち着いてきたというのが一点目です。それから、学校訪問については、7年に1回、小・中・高校全てに必ず訪問するように教育委員会として計画しておりますし、学校教育課としましては、色々な授業をされるときに学校に行き指導をするという取組をしております。

教育長 今、課長が申しましたように、教育委員会としての全課をあげての学校訪問で、こういったことをしましよと決まった学校訪問ですけれども、委員の皆さんの希望があれば、学校はいつでも授業参観とか色んな説明は可能な状況だと思います。

委員 今、お答えいただいた前者に関しては、おそらくそういう形でされていると思うんですけれども、私がお伺いしたかったのは中身の話でした。どういう設定をされていたのかということだったんですけれども。

事務局（学校教育課長） 今、ここに持ってきておりませんが、学校の紹介のパンフレットがございますので、それを見ていただければ、こういう子供たちに入学してほしいというアドミッション・ポリシーが明記されております。

教育長 今の新しい学習要領以前から、この適性検査の中では、いわゆる多角的に物を見る、表現するということが、意図されていると思います。その中で、柔軟な思考力であるとか、表現力というのを問うているのかなというのが、私が今まで見ているところの適性検査です。

委員 今回、こういう質問をさせていただいたのは、玉龍高校の先生とお話する機会をいただきまして、目の前にいる生徒たちを、どういう学習機会があれば、こういうふうに伸びるんだらうなっていうのを抱えていらっしゃるのかなと思います。そういったものを、意見交換する機会があってもいいのかなと思います。先ほど海外派遣の話もありましたけれども、せっかく南北600キロメートルありますので、鹿児島に居れば少し離島の方にも行かせるようなことがあってもいいのではないかと、皆さん色々考えていらっしゃると思います。7年に1回ということですが、大掛かりなのは大変だと思いますので、その辺は改善できますか。

教育長 是非、要望があればですね。小・中学校でも、話題になっている学校、色んなことで委員の皆さんが関心をもつていただければ、それは充分準備できることでございます。先ほど言いましたように、学校教育課が計画しているのは、あくまで教育委員会をあげてのものでございますので。それから、修学旅行は、玉龍高校は台湾ですね。中学校は都市部ですか。

事務局（学校教育課長） 中学校は、1年生の段階では、進学先を見るということで鹿児島大学を訪問して研修をしております。2年生になると、福岡の大学、3年生では、東大に行って講義を受けて帰ってくる。子供たちには、そういう機会をつくっているという現状もございます。先生がおっしゃるように、離島の方へというのは、実施しておりませんが、都市部の方を訪問する研修は取り入れているということでございます。

教育長 修学旅行先を変えるというのは、保護者・生徒のアンケートで手順はありますけれども、ご意見として委員の方から出ましたので、しっかりと取り組んでいきたいと思います。

委員 この間の総合教育会議でも、やはり鹿児島の人口減少といった話がある中で、鹿児島市立の高校が都会に生徒を送り出すような、外を見ることは大事なんですけれども、やはり鹿児島のことに目を向けるようなことこそが特色なのかな

と思いますので、そういった観点からも見直してみるべきかなと思います。

教育長 分りました。ありがとうございます。

教育長 それでは、委員の皆さんから、他にございませんでしょうか。

(なしの声あり)

～ ～ ～ ～ ～ ～ ～ ～ ～ ～ ～ ～

7 その他

教育長 それでは、他に事務局から何かございますでしょうか。

事務局 次回の日程をご案内いたします。2月の中旬以降、市議会の日程が入ってくる関係で定例会につきましては、2月6日木曜日16時00分からを予定しております。以上でございます。

8 閉会

教育長 それでは、以上をもちまして、本日の定例会を終了いたします。

【以上】